

地震対策推進事業	都市整備部建築行政課 電話:457-2471
----------	---------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	349,067	236,475	0	0	112,592

※地震対策推進経費、住宅・建築物防災力緊急促進事業、住宅・建築物耐震改修事業、がけ地近接等危険住宅移転助成事業（補助金）の合計

目的	予想される巨大地震による市民の生命や財産の被害をはじめ、震災時の緊急交通の確保や土砂災害による被害を最小限に抑えるため、旧耐震基準で建てられた建築物の耐震化や転倒の危険性のあるブロック塀等の対策を図る。
背景	・建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき市耐震改修促進計画を平成19年に策定し、計画策定時の住宅耐震化率は79.6%だったが、令和6年度末時点は93.9%となっている。 ・同計画は令和8年度に改定し、住宅・特定建築物・要緊急安全確認大規模建築物の耐震性が不十分な建築物を令和12年度までにおおむね解消することを目標にしている。
事業内容	所有者の判断で行われる住宅や建築物等の耐震化に対し、耐震診断や補強工事に係る費用の一部を助成して促進を図る。 1 住宅・建築物防災力緊急促進事業 12,746千円 2 住宅・建築物耐震改修事業 323,159千円 ・建築物耐震診断事業 9,056千円 ・建築物補強計画策定事業 7,177千円 ・建築物耐震補強助成事業 12,236千円 ・わが家の専門家診断事業 22,500千円 ・木造住宅耐震補強工事費助成事業 207,000千円 ・屋根瓦の耐風診断・改修工事費助成事業 17,190千円 ・ブロック塀等撤去改善事業 40,000千円 ・耐震シェルター整備事業 8,000千円 3 がけ地近接等危険住宅移転助成事業 11,569千円 4 地震対策推進経費 1,593千円

<地震による倒壊家屋の様子>



公共建築物長寿命化推進事業	財務部公共建築課 電話:457-2461
---------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	地方自治	3,369,018	0	2,694,600	333,000	341,418

※債務負担行為 事項：総合産業展示館北館外1施設小規模改修事業費 期間：令和9年度まで
限度額：232,288千円
事項：三方原協働センター外1施設大規模改修事業費 期間：令和9年度まで
限度額：601,351千円
事項：佐鳴湖公園漕艇場第1艇庫管理棟仮設建築物リース料
期間：令和9年度まで 限度額：50,295千円

※財源（その他）資産管理基金繰入金

目的	公共建築物長寿命化計画（一般施設）に基づき、市が保有する公共建築物（一般施設）の改修を計画的に実施することで、建築物の長寿命化を図るとともに、長期的な財政負担を軽減・平準化し、市民に安全で快適な建築物を提供する。		
背景	建築後40年が経過する施設面積の割合は、令和6年度の約48%から令和16年度には約71%に増加することが見込まれる。		
事業内容	1 施設劣化調査 21,329千円 施設の劣化状況を把握するための調査の実施（外壁打診調査等） 2 小規模改修 1,489,040千円（債務 232,288千円） ・建築物の寿命や機能維持に大きく影響する部位（外壁、屋根、受変電設備、空調熱源設備、給水ポンプ設備）の改修・更新 ・工事施設 外壁・屋根：国民宿舎奥浜名湖ほか、設備：浜北総合体育館ほか 3 大規模改修 974,715千円（債務 651,646千円） 建築後40年を経過する建築物を対象とした大規模な改修ほか事務費		
	(単位：千円)		
	施設	事業費	
		R8	計
	富塚協働センター（設計）	18,275	18,275
	細江健康センター	226,576	226,576
	光明ふれあいセンター	238,934	238,934
	和地協働センター	358,481	636,129
	南陽協働センター	69,236	853,283
	南陽図書館	32,650	394,409
	三方原協働センター	0	441,657
	佐鳴湖公園漕艇場第1艇庫管理棟	30,177	240,166
	計	974,329	3,049,429

南陽図書館大規模改修事業	財務部公共建築課 電話：457-2461
--------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費 総務費	地方自治	39,236	0	29,300	0	9,936

※関連課 市民部中央図書館（電話：456-0234）

※図書館運営事業 図書館管理運営事業の一部、図書館運営事業 施設整備事業の一部、公共建築物長寿命化推進事業の一部の合計

目的	築 40 年を経過した南陽図書館の大規模改修を実施し、安全で快適な公共空間を市民に提供する。																										
背景	・公共建築物長寿命化計画（一般施設）に基づき、概ね築 40 年を目途に計画的に大規模改修を実施している。 ・南陽図書館は「浜松市立図書館施設整備保全計画」において、大規模改修工事を最優先で実施する施設として位置づけている。																										
事業内容	1 事業費 （1）長寿命化工事・改良保全工事 521,700 千円（R8: 32,650 千円、R9:489,050 千円） 外壁・屋根改修、レイアウト変更、ZEB 化、書架新設 等 （2）ユニバーサルデザイン工事 R9:51,035 千円 エレベーター、ベビーケアルーム等の設置 （3）図書館資料・物品保管用倉庫賃貸借 R8:6,348 千円 （4）その他（休館中電気料など）R8:238 千円 2 スケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工業者選定</td><td>→</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>工事監理</td><td></td><td>→</td><td></td></tr> <tr> <td>工事</td><td></td><td>→</td><td></td></tr> <tr> <td>図書館休館（令和8年2月～令和10年1月頃）</td><td></td><td>→</td><td></td></tr> <tr> <td>資料・図書館システム等移設</td><td></td><td>→</td><td>→</td></tr> </tbody> </table>			項 目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	施工業者選定	→			工事監理		→		工事		→		図書館休館（令和8年2月～令和10年1月頃）		→		資料・図書館システム等移設		→	→
項 目	令和7年度	令和8年度	令和9年度																								
施工業者選定	→																										
工事監理		→																									
工事		→																									
図書館休館（令和8年2月～令和10年1月頃）		→																									
資料・図書館システム等移設		→	→																								

<施設概要>

所在地：中央区下江町

建物：鉄筋コンクリート造 延床面積 1,109.76 m²

建築年：昭和 59 年 4 月

年間入館者数：60,328 人（令和 6 年度）

図書貸出冊数：109,402 冊（令和 6 年度）

蔵書数（図書のみ）：50,742 冊（令和 6 年度）



道路・街路・河川事業	土木部道路企画課 電話:457-2375
------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	31,784,301	6,584,159	13,673,100	1,611	11,525,431

※関連課 土木部道路保全課（電話:457-2425）、土木部河川課（電話:457-2451）

※財源（その他）電線共同溝整備事業費負担金

目的	道路・河川の老朽化対策、適正な維持管理、近年頻発化する自然災害への対策や、道路ネットワークの整備を実施することにより、防災・減災、国土強靱化を強力に推進するとともに、市民の安全・安心・快適な生活基盤づくりを進める。
背景	- 本市は政令指定都市の中でも、多くの道路及び橋りょうを管理しており、近い将来これらが一斉に更新時期を迎える。 - 近年災害の激甚化や集中豪雨の頻発により、浸水被害が市内各地で発生している。
事業内容	1 維持修繕事業 20,035,745 千円 - 道路・河川の小規模要望事業 2,268,455 千円 - 橋りょう長寿命化事業 2,329,641 千円 - 交通事故ワースト1脱出事業 2,269,100 千円 - 舗装長寿命化事業（中規模要望除く）2,568,600 千円 - 橋りょう耐震化事業 1,975,296 千円 - 道路防災事業（中規模要望除く）1,445,190 千円 - 道路の中規模要望事業 937,450 千円 など 2 整備事業 9,748,556 千円 - 河川改良事業 2,775,530 千円 - 三遠南信自動車道関連整備事業 2,073,600 千円 - 国道道整備事業（中規模要望除く）2,465,996 千円 - 都市計画道路整備事業 890,060 千円 - 道路の中規模要望事業 893,020 千円 など 3 国直轄道路事業負担金 2,000,000 千円 - 三遠南信自動車道整備（水窪佐久間道路、青崩峠道路）1,740,000 千円 - 国道1号浜松バイパス等 260,000 千円
  三遠南信自動車道 国道152号現道改良 二級河川九領川 河川改修	

交通事故ワースト 1 脱出事業	土木部道路企画課 電話: 457-2232
-----------------	--------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	2, 282, 300	742, 534	702, 700	0	837, 066

※交通事故データ活用事業、交通安全施設等整備・修繕事業 国交付金事業の一部、国県道単独事業の一部、市道単独事業の一部の合計

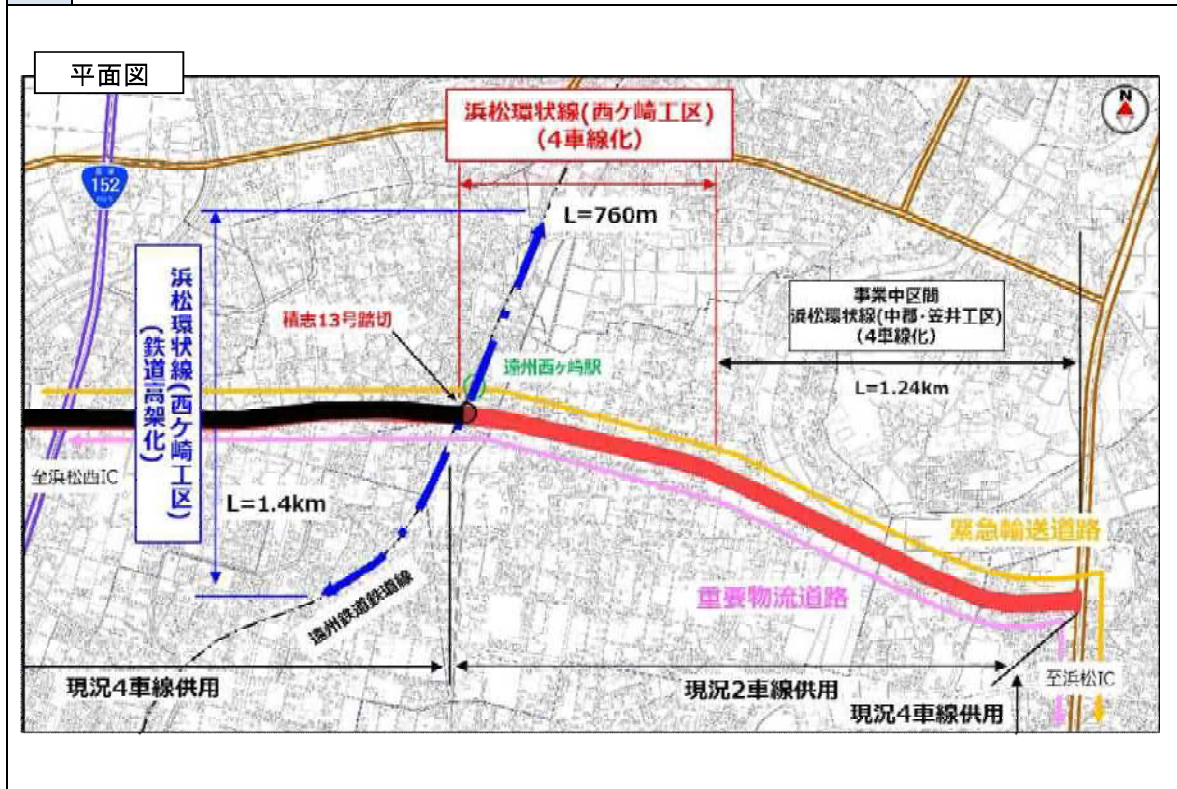
目的	事故データに基づく交通事故削減効果の高い対策、通学路等の生活道路の安全対策や交通事故の危険性が高い交差点における事故削減対策を実施することにより、交通事故ワースト 1 からの脱出を図る。
背景	- 本市の人口 10 万人当たりの人身交通事故件数は、16 年連続で政令指定都市中ワースト 1 であり、平成 27 年度から浜松市交通事故ワースト 1 脱出作戦を実施している。 - 令和 7 年 (4, 799 件) の人身交通事故件数は令和 6 年 (4, 795 件) と比較し、4 件増加したが、死者数は過去最少であり、負傷者数についても平成以降で最少という状況の中、生活道路の出会い頭事故が多発していることを踏まえ、安全対策を強化する。
事業内容	- 交差点等リフレッシュ事業 100, 000 千円 交差点や信号のない横断歩道周辺の安全対策（法定外表示の設置・更新 等） 交差点の法定外表示（止まれ）の更新約 600 か所及び区画線設置等約 300 か所 等 - 交差点等事故削減対策 137, 000 千円 交差点改良 等（コンパクト化、カラー化、路面表示による注意喚起 等）30 か所 AI による危険予測箇所や事故類似箇所への対策 90 か所、中央分離帯開口部閉鎖 5 か所 - 幹線道路事故危険箇所対策 489, 950 千円 幹線道路等の交差点改良や路面表示等による総合的な事故削減対策 国道 257 号旅籠・成子工区、県道和地山曳馬停車場線、国道 257 号浜松北高東交差点 外 - 生活道路等安全対策 196, 260 千円 生活道路における車両進入抑制や速度低下、歩行環境向上を目的とした安全対策 区画線更新、ゾーン 30 プラスの整備 4 箇所、ラウンドアバウトの設置 1 か所 等 - 通学路安全対策 1, 232, 890 千円 児童・生徒の安全な歩行空間確保等の対策（歩道設置、側溝蓋掛け 等）20 路線 - 自転車通行空間等整備事業 113, 000 千円 浜松市自転車活用推進計画に基づく安全で快適な自転車利用環境の整備 国道 257 号（鹿谷町～和合町）、市道飯田鴨江線（伝馬町～砂山町） 外 5 路線 - 交通事故データ活用事業 13, 200 千円 交通事故データ活用システムのデータ更新、AI モデルを活用した交通事故分析
 交差点等事故削減対策 【中央分離帯開口部閉鎖】  通学路安全対策 【歩道設置】  生活道路等安全対策 【ゾーン30プラス（スムーズ横断歩道設置）】	

浜松環状線立体交差化事業	土木部道路企画課 電話: 457-2432
--------------	--------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	361,100	185,605	156,300	0	19,195

目的	浜松環状線と遠州鉄道鉄道線との踏切部を立体交差化し、本路線を4車線化することにより、交通の円滑化及び物流機能強化を図る。
背景	- 静岡県と遠州鉄道(株)において、鉄道を高架化する覚書を平成10年3月に締結した。 - 事業化にあたり、概略設計を進める中で遠州鉄道(株)との協議を重ねた結果、事業化する方向について、令和6年2月に双方合意し、令和7年1月15日に積志13号踏切が踏切道改良促進法に基づく「改良すべき踏切道」の指定を受けた。
事業内容	1 事業概要 (主) 浜松環状線の4車線化に合わせ、(主) 浜松環状線と遠州鉄道鉄道線との交差箇所について、鉄道高架による立体交差化(高架区間L=1.4km)を実施する。 - 立体交差化による円滑な交通機能の確保とともに、隣接する遠州西ヶ崎駅における、駅の利便性向上を目的とした周辺環境整備等を実施する。 2 令和8年度事業費 - 設計費 201,100千円 道路詳細設計、高架橋設計、仮線軌道・電気設備設計 - 用地費 160,000千円 用地費、用地補償費



(拡充) 通報サービスいっちょお！システム機能追加	土木部道路企画課 電話:457-2232
---------------------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・快適	3,217	0	2,200	0	1,017

※道路企画デジタル運営経費

目的	「通報サービスいっちょお！」を活用し、交通環境でヒヤリハットした事例を情報収集することで、潜在的な危険箇所をマップで可視化し、幅広く市民の交通安全意識を高め、未然の事故防止につなげる。		
背景	・これまで警察から提供される事故データ、交通事故 AI 分析によるマップの公開など、様々なデータを保有しているが、市民の暮らしのまわりにあるヒヤリハットした事例の把握はしていなかった。 ・「通報サービスいっちょお！」からの道路損傷等に関する通報は年間約 3,900 件あり、市民協働による道路維持管理や事故防止等に寄与している。		
事業内容	1 運用方法		
	・市公式 LINE アカウント内で運用している「通報サービスいっちょお！」に新たに「交通環境ヒヤリハット」のメニューを追加 ・市民が体験したヒヤリハット事例を写真や位置情報付きで投稿 ・市は投稿された事例を収集・分析し、潜在的な危険箇所を把握 ・ヒヤリハット事例と事故発生状況等のデータを組み合わせ、危険箇所を見える化 ・ヒヤリハット事例の要因を分析し、事故対策を検討		
事業内容	2 「通報サービスいっちょお！」通報メニュー		
	メニュー	対象内容	
	(新規)交通環境ヒヤリハット	市内で体験したヒヤリハット事例	
	道路損傷	道路の舗装、側溝、河川及びカーブミラーなどの道路施設の危険箇所、要修繕箇所	
	路上死亡動物	市管理道路上で確認された飼い主不明の死亡動物の回収	
	不法投棄	市内で確認された不法投棄物	
	公園施設損傷	市公園施設（遊具、トイレなど）の危険箇所、要修繕箇所	
	不法・危険盛土	市内で確認された不法・危険盛土箇所	
＜運用イメージ＞			
①市民のヒヤリハット体験 ②ヒヤリハット事例投稿 ③事例収集・分析・対策検討			

浜松駅周辺自転車等駐車場再整備事業	土木部道路保全課 電話: 457-2425
-------------------	--------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	201,456	0	151,000	0	50,456

目的	浜松駅周辺の市営自転車・バイク駐車場再整備により、適正な利用を誘導するとともに、安心・快適な利用を図る。
背景	・ 浜松駅周辺は自転車等駐車場の収容台数が不足し、駐車場内の混雑や路上への放置自転車の発生、利用頻度が低い長期間の占有、盗難などの課題が顕在化している。 ・ 令和7年度、浜松駅西、駅東エリアの5駐車場の整備を実施した。
事業内容	安心して快適に利用できる自転車等駐車場の実現のため、有料化による適正な利用の誘導と盗難防止の強化、自転車収容台数拡大の整備を実施する。 1 令和8年度事業 (1) 浜松駅西自転車等駐車場 舗装工、ラック等の整備 (2) 浜松駅東自転車等駐車場 既設構造物撤去、ラック等の整備 (3) 浜松駅東第二自転車等駐車場 ラック、フェンス等の整備 (4) 八幡橋東自動二輪車駐車場 シェルター、舗装工等の整備 (5) 楽器博物館東自動二輪車駐車場等 既設構造物撤去、舗装工等の整備 2 令和9年度実施予定事業 自転車等駐車場再整備及び有料化施設等整備 3 総事業費 712,500 千円

<事業箇所>



<完成イメージ写真>



(新規) 浜松駅周辺自転車等駐車場指定管理導入事業	土木部道路保全課 電話: 457-2425
---------------------------	--------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	213,000	0	0	0	213,000

※事項: 浜松駅周辺自転車等駐車場指定管理運営費 期間: 令和11年度まで

目的	再整備した浜松駅周辺自転車等駐車場について、有料化へ移行し駐車場の適正な利用を誘導するとともに、指定管理者制度を導入し、継続した安心・快適な利用を図る。		
背景	・ 浜松駅周辺は自転車等駐車場の収容台数が不足し、駐車場内の混雑や路上への放置自転車の発生、利用頻度が低い長期間の占有、盗難などの課題が顕在化している。 ・ 令和5年度から浜松駅周辺自転車等駐車場再整備事業を実施している。		
事業内容	1 指定管理施設 浜松駅周辺の有料化へ移行する14施設及び無料の第一通り駅自転車駐車場 2 指定管理期間 令和9年度～令和11年度 3 指定管理者業務 施設及び設備の維持管理、条例で定める以下使用料の徴収など		
	車両区分	自転車	
	エリア	駅西・駅東	鍛冶町通り
	一時利用 又は 時間利用	24時間ごと 100円	3時間以内 無料 以降2時間ごと 100円 24時間最大 500円
	定期利用 ※	1か月 2,000円 3か月 5,700円 6か月 10,800円	3時間以内 100円 12時間以内 150円 24時間以内 200円
※定期利用の減免は、障がい者免除、小中高生5割減額、70歳以上5割減額			

<指定管理予定施設>

無料: 第一通り駅自転車駐車場 (指定管理 1施設)

有料: 鍛冶町通りエリア (指定管理 2施設)

有料: 駅東エリア (指定管理 5施設)

有料: 駅西エリア (指定管理 7施設)

自転車駐車場
バイク (125cc以下)
バイク (125cc超)

<駅西・駅東エリア 完成イメージ写真>

発券機 精算機 出入りゲート

<鍛冶町通りエリア 完成イメージ写真>

精算機 ラック

リモコン式草刈機等貸出事業	土木部河川課 電話：457-2451
---------------	-----------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	370	0	0	0	370

※河川管理対策事業 河川愛護支援事業の一部

目的	市内の河川において草刈り等の河川愛護活動を行う団体に対し、草刈機等を貸し出すことにより、河川愛護活動を行う住民の安全を確保し、作業負担を軽減する。																																																				
背景	・住民の高齢化や人口減少、気温上昇による活動中の熱中症リスク等のため、地域における河川愛護活動の継続が困難になっている。 ・草刈りは斜面での作業も多く、身体的な負担も大きい。																																																				
事業内容	1 運用方法 ・草刈機の利用希望団体は、土木整備事務所で利用団体登録及び事前予約を実施 ・保管場所からの草刈機の運搬、使用後の返却は、利用団体が実施 ・草刈機の替刃、修繕、保険加入などの維持管理費用は市が負担																																																				
	2 スケジュール <table><tr><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>草刈シーズン</td><td colspan="4">←→</td><td colspan="4">←→</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>貸出時期</td><td colspan="8">←→</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>メンテナンス</td><td colspan="8">←→ 随時</td><td colspan="4">←→ 年次点検</td></tr></table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	草刈シーズン	←→				←→								貸出時期	←→												メンテナンス	←→ 随時								←→ 年次点検			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																								
草刈シーズン	←→				←→																																																
貸出時期	←→																																																				
メンテナンス	←→ 随時								←→ 年次点検																																												
3 導入機器及び台数（本体は令和7年度予算で導入）	リモコン式草刈機2台、ハンマナイフ式草刈機1台、畔草刈機3台																																																				

<導入機器>

①リモコン式草刈機



②ハンマナイフ式草刈機



③畔草刈機



性能	刈 幅：70～80 cm 最大傾斜：30～40 度	刈 幅：65 cm 最大傾斜：25 度	刈 幅：50 cm 最大傾斜：45 度
適した場所	堤防の斜面が広い場所	堤防の平らな場所	堤防の斜面が狭い場所

芳川公園地下貯留施設整備事業	土木部河川課 電話：457-2451
----------------	-----------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	300,000	0	300,000	0	0

※河川改良事業 単独事業の一部

目的	近年の大雨の激甚化・頻発化に伴う浸水被害に対し、芳川公園の地下貯留設備を整備することで東芳川流域の浸水被害早期軽減を図る。																						
背景	・浜松市総合雨水対策計画では、東芳川エリアを重点対策エリアに位置付けており、ハード・ソフトの両面から種々の対策を進めている。 ・令和４年９月の台風第１５号により東芳川流域は家屋浸水約５０戸の被害が発生したほか、芳川公園西側に位置する飯田６号排水路は溢水した経歴があり、目標降雨に対しても排水能力が不足している。																						
事業内容	１ 事業概要 東芳川流域を流れる飯田６号排水路周辺における浸水被害軽減のため、芳川公園に貯留量約５,０００㎡の地下貯留施設を整備する。																						
	２ 事業効果 家屋被害・道路冠水の軽減																						
	３ 令和８年度事業費 ３００,０００千円																						
	<参考 年度別事業費> (単位：千円)																						
	<table><tr><th colspan="2">区分</th><th>総事業費</th><th>～R7</th><th>R8</th><th>R9</th></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>725,000</td><td>325,000</td><td>300,000</td><td>100,000</td></tr><tr><td rowspan="2">財源内訳</td><td>市債</td><td>400,000</td><td>0</td><td>300,000</td><td>100,000</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>325,000</td><td>325,000</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	区分		総事業費	～R7	R8	R9	事業費		725,000	325,000	300,000	100,000	財源内訳	市債	400,000	0	300,000	100,000	一般財源	325,000	325,000	0
区分		総事業費	～R7	R8	R9																		
事業費		725,000	325,000	300,000	100,000																		
財源内訳	市債	400,000	0	300,000	100,000																		
	一般財源	325,000	325,000	0	0																		

<浸水被害痕跡（南陽中学校前）>



令和4年9月台風第15号（夜間の豪雨）で、校門の上部（1m程度）まで浸水痕が確認されている。

<事業実施箇所（芳川公園）>



公園の地下に貯留施設を設置

(新規) 駅南地区まちづくり指針策定事業	都市整備部都市計画課 電話: 457-2371
----------------------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	20,020	10,010	0	0	10,010

※都市計画区域マスタープラン調査検討事業の一部

目的	常葉大学浜松キャンパスや浜松調理菓子専門学校に移転が決定するなど、今後の発展が期待される駅南地区について、持続可能な発展や活性化に向けた「まちづくりの指針」を策定する。
背景	- 駅南地区の土地利用は、これまで住居系が主となっており、現状、商業・業務機能の集積は JR 浜松駅近くの一部区域に限られている。 - 令和 8 年 3 月に策定する中心市街地活性化基本計画では、駅南地区を中心に区域を大きく拡大し、都市機能の誘導などにより活性化を図ることとしている。
事業内容	- 基礎調査・関係者の意向把握 駅南地区に不動産等を持つ事業者へのヒアリング、立地特性や人流等の市場調査、地元まちづくり有志を対象としたワークショップや WEB を活用した市民意向把握等 - まちづくりの指針策定 駅南地区の課題整理、コンセプト、アクションプランの検討 - まちづくりの指針の運用方法検討 まちづくりの指針の運用（建築物形態規制、公共空間利活用、行政支援の運用指針等）の整理・検討 - 対象範囲 

都市計画道路見直し計画調査検討事業	都市整備部都市計画課 電話: 457-2371
-------------------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	5,451	0	0	0	5,451

目的

都市計画道路の見直しにより、本市の市街地における交通環境の向上及び社会状況の変化を踏まえた都市計画道路網を構築する。

背景

・国土交通省は、長期未整備の都市計画道路に対する見直しの必要性を示している。

・都市計画道路見直し計画に基づく取組として、第1次見直し（H22年）では約8kmの道路を廃止、第2次見直し（H24年）では約53kmを廃止候補とし、このうち約19kmの道路を廃止したが、残り約34kmの手続きを保留としている。

西遠都市圏総合交通体系調査（令和4年～）の結果を踏まえ、廃止手続きを保留している都市計画道路約34kmの必要性の再検証を行い、見直し計画の改定版を策定する。

策定後、地域住民と合意形成を図り、必要に応じて都市計画手続きを行う。

1 都市計画道路見直し計画調査検討

・ネットワーク機能検証による保留区間の必要性の確認

・都市計画道路見直し計画（改訂版）策定 等

2 保留路線一覧

事業内容

中央区

浜名区

天竜区

No.	路線名	保留延長 (m)
①	北島住吉線	5,560
②	国古蜷塚線 → 天竜川蜷塚線	1,960
③	中郡福塚線 → 天王福塚線	1,640
④	泉倉松線	5,800
⑤	飯田鴨江線	680
⑥	高林芳川線	4,820
⑦	植松和地線 → 植松伊左地線	2,840
⑧	鶴見向宿線 → 飯田向宿線	2,490
⑨	早出寺脇線 → 早出寺島線	2,310
⑩	高畑線	550
⑪	亀山森田線	1,165
⑫	池川富塚線	1,170
⑬	小池細島線	630
⑭	積志半田線	640
⑮	山王曲り線	1,650
合計		33,705

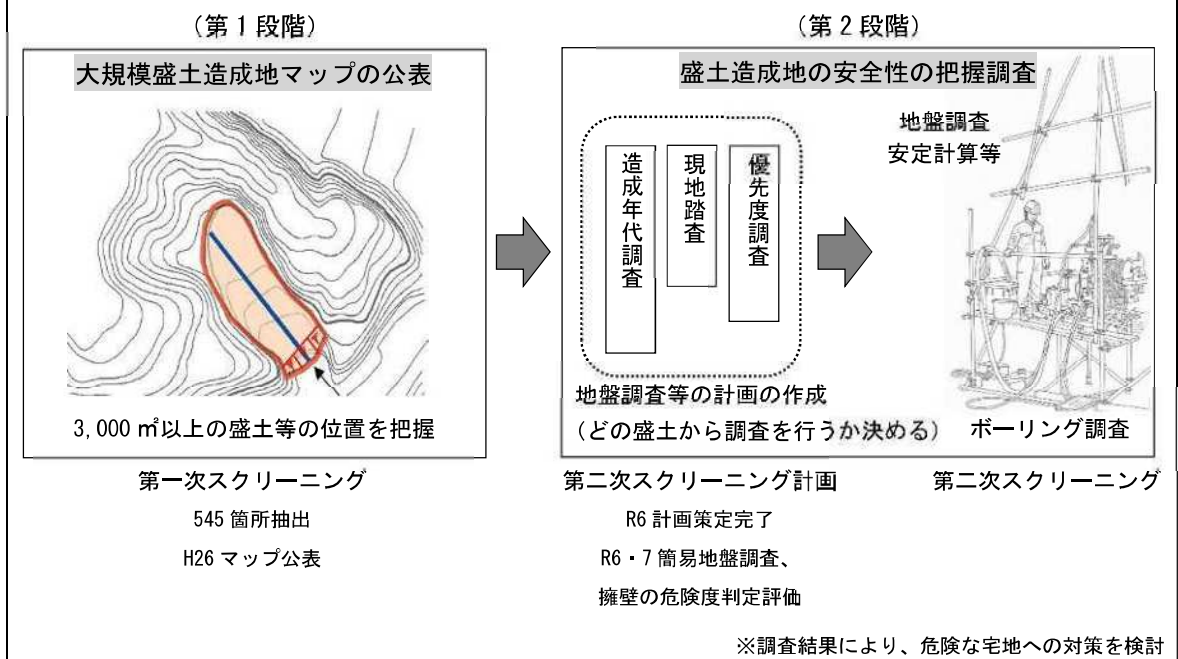
宅地耐震化推進事業	都市整備部盛土対策課 電話：457-2307
-----------	---------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	64,735	21,578	0	0	43,157

目的	地震時に発生することが懸念される宅地の地滑りの変動（滑動崩落）を防止し、宅地造成が行われた宅地の安全性を確保する。
背景	- 平成 18 年に「宅地耐震化推進事業」が創設され、本市では平成 22 年度までに第一次スクリーニング(大規模盛土造成地の抽出調査)を実施し、平成 26 年度に「大規模盛土造成地マップ(545 か所)」を公表した。 - 令和 5 年度から 6 年度にかけて、第二次スクリーニング計画を策定し、令和 8 年度から本格的な調査段階に移行する。
事業内容	1 第二次スクリーニング業務 64,735 千円（国 1/3） 業務内容：第二次スクリーニング計画において調査優先度が高いとした箇所の安全性把握調査（ボーリング調査、安定計算等）を実施し、安全性を確認 実施方針：崩落時の被害想定が大きい盛土造成地を優先して実施 実施箇所：3 か所 2 今後のスケジュール - 令和 8 年度から 14 年度にかけて毎年 3 か所ずつ実施予定 - 該当盛土造成地については盛土規制法基礎調査業務にて毎年経過観察

<宅地耐震化推進事業のスキーム>



(新規) 地域公共交通網形成計画改定事業	都市整備部交通政策課 電話:457-2441
----------------------	---------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	39,855	0	0	12,415	27,440

※総合交通計画推進事業の一部

※財源(その他) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金

※債務負担行為 事項: 地域公共交通利便増進実施計画及び網形成計画増補版作成業務委託費

期間: 令和9年度まで 限度額: 11,920千円

事項: 公共交通施策評価検討業務委託費 期間: 令和9年度まで

限度額: 4,975千円

目的	市内公共交通の再構築(以下、「リ・デザイン」)に向けた計画を策定し、地域公共交通網形成計画へ位置付け、持続可能な公共交通を推進する。
背景	- 令和6年度に本市と遠州鉄道株式会社で協定を締結し、今後の路線バスを中心としたリ・デザインに取り組んでいくことを決定し、令和7年度には、両方で「リ・デザイン協議会」を設置した。 - リ・デザイン事業の国の補助要件は、地域公共交通利便増進実施計画の策定、地域公共交通網形成計画への位置付け及び大臣認可の取得となっている。
事業内容	1 地域公共交通利便増進実施計画及び網形成計画増補版作成業務 24,830千円(R8:12,910千円、R9:11,920千円) パーソントリップ調査における人流データや、運行事業者から提供されるICカード利用実績、路網のネットワークデータを活用し、現状分析や課題整理を行い、リ・デザインの実行計画となる利便増進実施計画、交通網形成計画増補版の策定を行う。 2 公共交通改善施策評価検討業務 14,925千円(R8:9,950千円、R9:4,975千円) 市民を対象とした意識調査を実施し、パーソントリップ調査で構築された交通需要推計モデルを活用し、公共交通に関する計画への反映を行う。 3 事務経費(旅費)100千円

＜関連計画改定等のスケジュール＞

	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
遠州鉄道との協定(R7～)					
利便増進実施計画策定					
都市計画マスタープラン改定業務					
地域公共交通網形成計画及び 総合交通計画改定業務					

＜リ・デザインの主な例＞

- ・路線バスの再編
- ・交通結節点の強化
- ・公共交通の高規格化

(新規) 地区内交通等基礎調査事業	都市整備部交通政策課 電話: 457-2441
-------------------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	8,072	0	0	4,036	4,036

※総合交通計画推進事業の一部

※財源(その他) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金

目的	地域公共交通網形成計画の改定に向けて地区内交通の実態調査・分析を行い、地域特性に即した持続可能な公共交通の実現を図る。
背景	- 令和2年度策定の計画から5年が経過し、地域バスの利用状況や収支状況に乖離が生じており、地域からは維持基準(現行16%)の見直しについて要望書が提出されている。 - 令和9年度末の計画増補版策定、令和12年度の公共交通計画策定に向けて、現状分析に基づく見直し案の検討が必要である。
事業内容	1 地区内交通等基礎調査 - 地区内交通等の運行形態のとりまとめ及び評価・分析 - 人口動態や人流データ等を活用した現状分析 - 地域バス利用者へのアンケート調査 (対象: 500人、主な調査項目: 年齢層、性別、就業形態等利用者特性など) 2 実施スケジュール - 令和7年度 庁内意見聴取による地域ニーズ等の課題の洗い出し - 令和8年度 基礎調査委託による評価・分析及び見直し案の検討 - 令和9年度 見直し案の決定・地元調整・計画反映、公共交通計画策定準備 - 令和10年度以降 公共交通計画策定に向けた地域バスのルールや運行形態の検討

<地区内交通の詳細>

令和6年度実績

(単位: 人)

区分	地域	地域バス	利用人数
浜名区	浜松北	にこにこバス	2,738
	三ヶ日	オレンジふれあいバス	10,590
	細江	みをつくしバス	439
	引佐	いなさみどりバス(なおとら)	2,227
		いなさみどりバス(つつじ)	3,371
	浜北	コミュニティバス	2,614
天竜区	熊・竜川		57
	門原	天竜ふれあいバス	42
	百古里		57
	龍山	龍山ふれあいバス	402
	春野	春野ふれあいバス	1,969
	水窪	水窪ふれあいバス	1,765
	佐久間	佐久間ふれあいバス	3,879
	熊・阿多古	天竜ふれあいバス	4,837

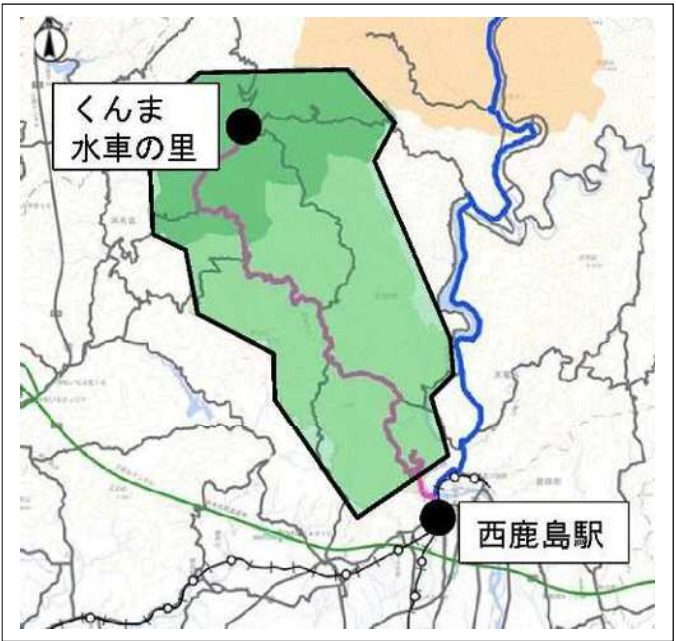
(新規) 熊・阿多古地区ライドシェア導入検証事業	都市整備部交通政策課 電話: 457-2441
--------------------------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	10,014	0	0	6,676	3,338

※共助型地域交通等推進事業の一部

※財源(その他)地域公共交通確保維持改善事業費補助金

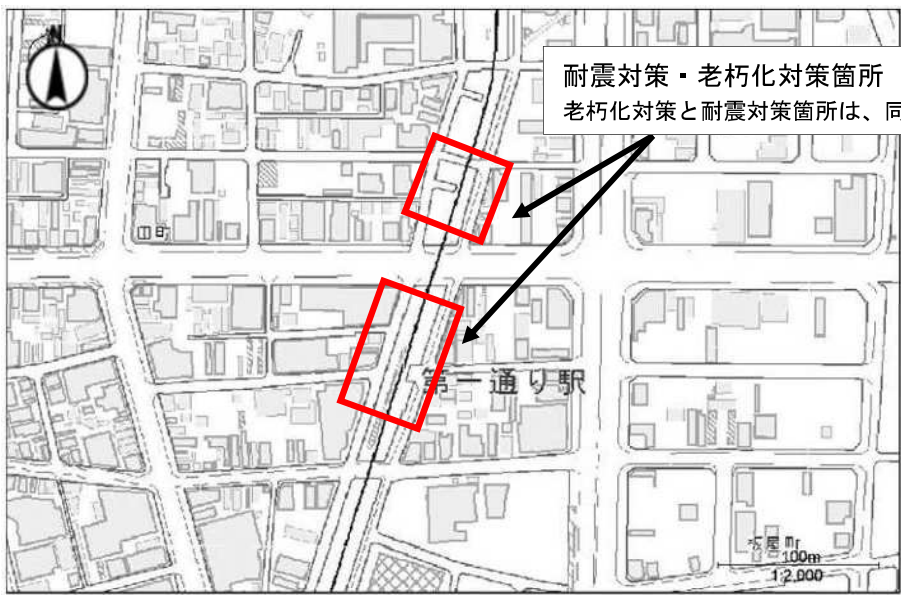
目的	熊・阿多古地区において住民主体の共助型地域交通(ライドシェア)を試行的に導入し、有効性を検証する。
背景	・路線バスの撤退により公共交通サービスが低下し、高齢者等の交通弱者の移動手段確保が課題となっている。 ・昨年度実施した調査において、個別送迎サービスについて一定のニーズが確認された。
事業内容	1 実施内容 ・地域住民のニーズ調査 ・共助型地域交通(ライドシェア)の実証実験 ・実証実験後の利用データを分析し、導入可能性を検証 2 令和8年度実施スケジュール ・ニーズ調査: 7月~9月 ・実証実験: 9月~1月 ・分析・検証: 12月~2月 3 対象世帯数: 約1,500世帯 ＜対象地区＞ 

(拡充) 鉄道施設老朽化・耐震対策助成事業	都市整備部交通政策課 電話: 457-2441
-----------------------	----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	37,000	0	0	35,000	2,000

※鉄道施設老朽化対策助成事業（補助金）、鉄道施設耐震対策助成事業（補助金）の合計
※財源（その他）都市計画税

目的	鉄道事業者が実施する鉄道施設老朽化対策及び耐震対策事業に対して助成することにより、施設劣化や大規模地震による鉄道施設の被害を未然に防止し、列車の安全運行並びに鉄道利用者の安全確保を図る。
背景	- 第一期高架化区間（新浜松駅～八幡駅）は整備から40年以上を経過している。 - 同区間は現行の耐震性能を満たしていないため、耐震対策の早期完了を目指し、令和2年度に本市と遠州鉄道株式会社とで覚書を締結している。
事業内容	1 (新規) 鉄道施設老朽化対策助成事業 10,000 千円 - 事業内容: 新川第4、第5高架橋 コンクリートはく落防止対策工事 - 負担割合: 国 1/3、県 1/6、市 1/6、事業者 1/3 - 今後の予定: 橋脚耐震対策工事と同一箇所を実施する予定 2 鉄道施設耐震対策助成事業 27,000 千円 - 事業内容: 橋脚耐震対策工事4基（第一通り駅北側、新川北駐車場） - 負担割合: 国 1/3、県 1/6、市 1/6、事業者 1/3 - 整備状況: 全橋脚96基のうち、令和7年度までに整備済80基 - 今後の予定: 令和9年度整備7基、令和10年度整備5基 

鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業	都市整備部交通政策課 電話:457-2441
---------------------	---------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	43,333	0	0	42,000	1,333

※財源（その他）都市計画税

目的	鉄道事業者が実施する鉄道駅バリアフリー設備整備事業に対して国と協調して助成することで、鉄道利用者の安全性・利便性の向上等を図り、誰もが利用しやすい鉄道駅を実現する。
背景	・鉄道事業者は「移動円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、駅のバリアフリー化を推進している。 ・小林駅周辺の土地区画整理事業に伴い、将来、駅利用者の増加が見込まれる。
事業内容	遠州小林駅のバリアフリー化に対し、補助金を交付する。 1 負担割合 国 1/3、市 1/3、事業者 1/3 2 事業費 補助金 43,333 千円 バリアフリー化工事（既存スロープ改修工事） 130,000 千円（総事業費）×1/3＝43,333 千円 3 今後の整備予定 令和 9年度 新浜松駅（ホーム嵩上げ、固定柵） 令和10年度 遠州病院駅（ホーム嵩上げ）



<過去の整備実績（平成 25 年度以降 市補助事業のみ）>

平成 26～27 年度	遠州病院駅（エレベーター、バリアフリースイレ）
平成 28～29 年度	浜北駅（スロープ、ホーム嵩上げ、固定柵）
令和 2～4 年度	八幡駅（エレベーター、バリアフリースイレ、ホーム嵩上げ、固定柵）
令和 3 年度	遠州小林駅、美園中央公園駅（固定柵）
令和 5 年度	遠州岩水寺駅（固定柵）
令和 6～7 年度	第一通り駅（エレベーター、バリアフリースイレ、ホーム嵩上げ等）

浜松駅バスターミナル待合環境整備事業	都市整備部交通政策課 電話：457-2441
--------------------	---------------------------

(単位：千円)

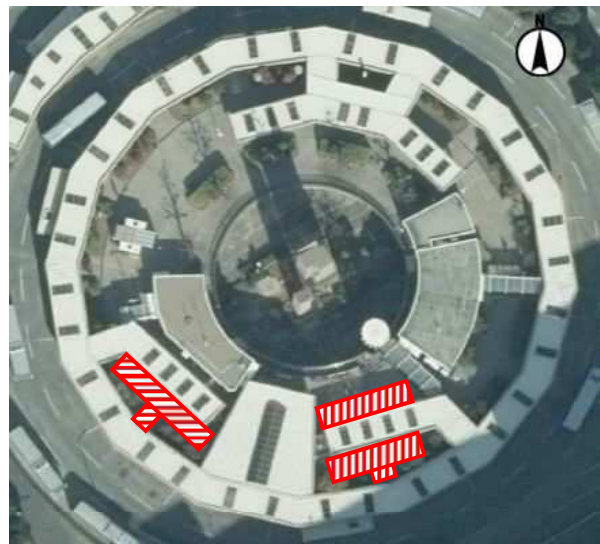
予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	45,000	0	33,700	11,000	300

※交通施設再整備事業の一部
※財源（その他）都市計画税

目的	交通結節点である浜松駅バスターミナルの待合環境を整備し、利用者の安全を確保するとともに利便性向上を図る。
背景	- 雨天時において、屋根のある待合スペースから溢れた傘を差したバス待合者が列を作り、バスターミナル内の滞留や混雑が発生している。 - 令和7年9月議会において、屋根の増設に向けた設計費を予算計上し、令和8年3月を終期として設計を進めている。
事業内容	台風シーズンまでの供用開始を目指し、バスターミナルへの屋根設置工事を実施する。完成した箇所から順次、供用開始する。 1 事業費 45,000 千円（工事請負費） 2 スケジュール 令和8年5月中旬～8月下旬 屋根設置工事



<雨天時のバスターミナルの様子>



<屋根の増設予定箇所>

整備箇所：

高塚駅北第二公共団体区画整理事業及び関連事業	都市整備部市街地整備課 電話：457-2366
------------------------	----------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	1,827,582	450,000	1,138,800	230,000	8,782

※(市街地整備事業費)人件費(高塚駅北第二土地区画整理審議会委員報酬、会計年度任用職員)、
高塚駅北第二公共団体区画整理事業 国交付金事業、高塚駅北第二公共団体区画整理事業 単
独事業、高塚駅北第二公共団体区画整理関連整備事業 単独事業の合計

※財源(その他)都市計画税

目的	高塚駅周辺の拠点性を高める良好な都市環境の整備及び都市機能の集積を図る。
背景	本区画は、平成 27 年の高塚駅北口の開設に伴い、駅への交通需要の増加及び土地利用の利便性向上が見られる一方、車両の通行が困難な狭隘道路が多く、歩道が未整備であるため、駅利用者及び周辺住民の安全確保が課題となっている。
事業内容	1 総事業費 約 79.2 億円(区画整理事業 約 73 億円、関連整備事業 約 6.2 億円) 2 事業概要 高塚駅北第二公共団体区画整理事業による都市基盤整備 県道高塚停車場入野線、市道高塚 101 号線の整備等 3 事業期間 令和 4 年度から令和 13 年度まで 4 施行面積 約 4.6ha(高塚駅北第二公共団体区画整理事業) 5 事業計画 令和 7 年度 先行買収、換地設計、仮換地指定等 令和 8 年度 区画整理建物等移転、埋蔵文化財調査等 令和 9 年度 区画整理建物等移転、排水施設、道路築造等



浜北中央北地区公共施設整備事業及び組合支援事業	都市整備部市街地整備課 電話：457-2366
-------------------------	----------------------------

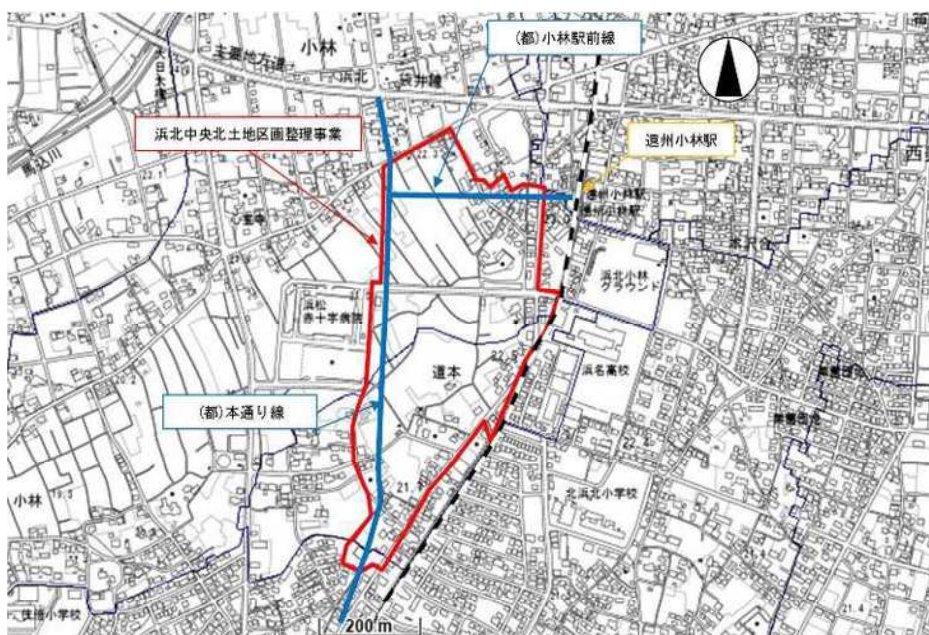
(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	2,337,013	1,027,081	1,023,100	279,000	7,832

※浜北中央北地区公共施設整備事業 国交付金事業、浜北中央北地区公共施設整備事業 単独事業、組合等区画整理支援事業 浜北中央北土地区画整理組合支援事業の合計

※財源（その他）都市計画税

目的	浜北中央北地区において、医療・福祉等のサービス施設を誘導し、公共交通ネットワーク沿いへの人口集積を高め効率的な土地利用を図る。
背景	本地区は、立地適正化計画における主要生活拠点として、土地区画整理事業などの基盤整備や地区計画の活用により良好な居住環境の形成が求められている。
事業内容	1 公共施設整備事業 930,038 千円 (1) 総事業費 32.3 億円 (2) 事業概要 浜北中央北土地区画整理事業に関連する公共施設整備 都市計画道路本通り線 L=1,000m、都市計画道路小林駅前線 L=290m 等 (3) 事業期間 令和 3 年度から令和 12 年度まで (4) 事業計画 令和 8 年度～ 工事着手（区画整理区域内、小林工区） 用地買収着手（道本工区） 2 組合支援事業 1,406,975 千円 (1) 総事業費 66.2 億円 (2) 事業概要 浜北中央北土地区画整理事業による都市基盤整備：施行面積 19.0ha (3) 事業期間 令和 3 年度から令和 12 年度まで (4) 事業計画 令和 8 年度～ 区画整理建物移転、調整池・排水施設築造、道路築造



国際園芸博覧会出展事業	都市整備部緑政課 電話：457-2565
-------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費 農林水 産業費	安全・安心・ 快適	29,946	3,000	0	23,946	3,000

※関連課 産業部農業振興課（電話：457-2331）

※財源（その他）森林環境譲与税、花と緑の基金繰入金

※債務負担行為 事項：国際園芸博覧会花きPR業務委託費 期間：令和9年度まで
限度額：6,000千円

目的	令和9年開催の国際園芸博覧会への出展を通じて、浜松・浜名湖地域が全国有数の「花と緑のまちづくり」に取り組む地域であることを全国や世界に向けて発信する。	
背景	・国際園芸博覧会は、平成16年の浜名湖花博に続く国内4度目の開催であり、会場規模も大きく最上位ランクのA1種別として開催される国際イベントである。 ・横浜市で令和9年3月から9月まで6か月間開催され、1,500万人の参加規模が見込まれる。	
事業内容	1 出展概要（緑政課） （1）出展区分：屋外花壇出展（面積：100㎡） （2）出展期間：開催期間中（3/19～9/26） （3）出展内容：山光水色（さんこうすいしょく）をデザインテーマに、本市の豊かな自然や文化の多様さを表現 （4）事業費：23,946千円 （5）R8実施内容：花壇施工、夜間開園対応照明工事等 2 出展概要（農業振興課） （1）出展区分：屋内出展（面積：15㎡） （2）出展期間：期間中9日間×4回の36日間 （3）出展内容：各回の出展想定 ・4/17～4/25：ガーベラ ・6/5～6/13：クルクマ ・7/3～7/11：ホオヅキ ・9/18～9/26：キク （4）事業費：6,000千円 (R9：6,000千円) （5）R8実施内容：委託業者の選定、展示内容の決定、出展準備等	

<屋外花壇イメージスケッチ>



(新規) 可美公園相撲場整備事業	都市整備部公園課 電話: 457-2353
------------------	--------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	122,303	0	84,600	9,000	28,703

※公園整備事業 単独事業の一部

※財源(その他) 都市計画税

※債務負担行為 事項: 可美公園相撲場整備事業費 期間: 令和9年度まで
限度額: 112,883 千円

目的	老朽化した遠州灘海浜公園の相撲場を可美公園に移転整備することで、夜間練習や大会が可能な環境を確保するとともに、利用者の利便性向上を図る。
背景	- 遠州灘海浜公園の相撲場は整備後 45 年が経過し、土俵の排水不良や柱の腐食等の経年劣化による損傷が多く、改修が必要な状況となっている。 - 伊勢ヶ濱親方(元横綱 照ノ富士)より、相撲をする子どもたちがもっと増えてほしいとの思いから、土俵の寄附の申出があった。
事業内容	- 可美公園相撲場整備 - 実施設計、地質調査、工事監理、整備工事を実施 - 伊勢ヶ濱親方から寄附される土俵を活用し、市は上屋まで(造成を含む)の整備 - 既存の遠州灘海浜公園内相撲場は老朽化のため廃止・撤去 - 可美公園の選定理由 - 駐車場は夜間閉鎖しないため、夜間の練習利用が可能 - 市の中心部に近く、駐車場が広く(257 台収容)、会議室やホールを有しており、大規模な大会等への対応が可能 - スケジュール - 令和8年5月~10月: 地質調査・実施設計業務 - 令和9年1月~10月: 整備工事(10 か月) - 事業費 - 令和8年度: 9,420 千円(調査・設計) - 令和9年度: 112,883 千円(工事監理・新築工事)

<位置図>



浜松城公園（元城地区）整備事業	都市整備部公園課 電話：457-2353
-----------------	-------------------------

（単位：千円）

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	32,665	0	13,900	18,000	765

※公園整備事業 浜松城公園整備事業の一部、公園整備事業 浜松城公園整備関連事業の一部の
合計

※財源（その他）都市計画税

目的	都市公園の一部として元城小学校跡地（元城地区）を整備・活用し、市民の憩いの場としての魅力向上と、公園全体の利便性向上・利用拡大を図る。																												
背景	・令和元年度から３年間の遺構調査により二の丸の遺構や石垣の残存が確認されたが、擁壁近接箇所は安全性への懸念から発掘調査を見送っており、残存状況の確認が必要である。 ・現在は、葵広場として主にイベント等で活用されているが、旧大河ドラマ館等の施設が遊休施設となっている。																												
事業内容	1 元城地区整備事業 18,618 千円 （１）遺構調査 擁壁周辺の遺構残存状況確認のための試掘調査を実施 （２）施設整備 葵広場に繋がる出入口改修等整備工事を実施 2 維持管理 14,047 千円 旧ドラマ館・旧オフィス棟・旧ショップ棟の電気料・トイレの水道料や備品購入、葵広場の警備や除草業務等																												
＜旧大河ドラマ館等施設の整備について＞ 令和９年６月：オープン（予定）																													
<table><tr><th colspan="2">旧施設名</th><th>活用例</th></tr><tr><td rowspan="2">ドラマ館</td><td>展示室</td><td>屋内広場、多目的スペース（イベント等）</td></tr><tr><td>バックヤード</td><td>倉庫</td></tr><tr><td rowspan="4">オフィス棟</td><td>会議室</td><td>貸会議室</td></tr><tr><td>事務室</td><td>管理事務室、貸会議室</td></tr><tr><td>トイレ</td><td>公園利用者へ開放</td></tr><tr><td>その他</td><td>公園利用者へ開放</td></tr><tr><td rowspan="3">ショップ棟</td><td>休憩スペース</td><td>情報発信・休憩スペース（軒下含む）</td></tr><tr><td>特産品販売所</td><td>多目的スペース（団体休憩・ワークショップ・展示等）</td></tr><tr><td>その他</td><td>倉庫</td></tr><tr><td>葵広場</td><td>葵広場</td><td>一般開放、屋外スペース（イベント等）</td></tr></table>			旧施設名		活用例	ドラマ館	展示室	屋内広場、多目的スペース（イベント等）	バックヤード	倉庫	オフィス棟	会議室	貸会議室	事務室	管理事務室、貸会議室	トイレ	公園利用者へ開放	その他	公園利用者へ開放	ショップ棟	休憩スペース	情報発信・休憩スペース（軒下含む）	特産品販売所	多目的スペース（団体休憩・ワークショップ・展示等）	その他	倉庫	葵広場	葵広場	一般開放、屋外スペース（イベント等）
旧施設名		活用例																											
ドラマ館	展示室	屋内広場、多目的スペース（イベント等）																											
	バックヤード	倉庫																											
オフィス棟	会議室	貸会議室																											
	事務室	管理事務室、貸会議室																											
	トイレ	公園利用者へ開放																											
	その他	公園利用者へ開放																											
ショップ棟	休憩スペース	情報発信・休憩スペース（軒下含む）																											
	特産品販売所	多目的スペース（団体休憩・ワークショップ・展示等）																											
	その他	倉庫																											
葵広場	葵広場	一般開放、屋外スペース（イベント等）																											

浜松城公園さくらの名所再生事業	都市整備部公園課 電話:457-2353
-----------------	-------------------------

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	24,005	0	9,000	10,000	5,005

※関連課 都市整備部緑政課 (電話:457-2586)

※公園整備事業 浜松城公園整備事業の一部、公園整備事業 浜松城公園整備関連事業の一部の
合計

※財源 (その他) 花と緑の基金繰入金

目的	浜松城公園の桜を治療再生・更新により本市を代表する「さくらの名所」として再生し、市民の憩いの場、観光名所としての魅力向上を図る。
背景	・浜松城公園内の桜 (ソメイヨシノ) は高齢化や周囲樹木の繁茂による日照不足、病虫害等により劣化・衰弱化が進行し、桜の本数や開花数が減少している。 ・市内企業等より、浜松城公園の桜再生に対して寄附の希望があった。
事業内容	1 調査・計画策定業務 11,726 千円 ・歴史ゾーン以外のその他のゾーンの桜健全度調査を行い、公園全体の桜の状況を把握 ・さくらの名所再生計画及び実行年次計画の策定 2 桜の治療再生・更新工事 11,817 千円 ・桜の治療再生・樹勢回復手法による既存桜の再生 ・衰弱化した桜の若木への更新等の伐採及び植栽工事 3 苗木育成・市民啓発 462 千円 ・桜の苗木育成 (フラワーポットでの育成と設置) ・市民啓発の実施、事業への理解促進 4 事業スケジュール ・令和7年度: 苗木育成開始、歴史ゾーン内桜健全度調査 ・令和8年度: その他のゾーンの桜健全度調査、計画策定、治療再生・更新着手、市民啓発 ・令和9~11年度: 治療再生・更新工事本格実施、市民啓発継続
<寄附の募集等> ・令和8年1月~ 寄附の募集 (個人、企業・団体) ※市HP、浜松城公園桜まつり会場等でPR	



桜の時期の浜松城公園

(新規) 園内カート運行事業	都市整備部動物園 電話:487-1122
----------------	-------------------------

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	12,999	0	0	0	12,999

※動物園施設維持管理事業の一部、一般整備事業の一部の合計

目的	園内の高低差による来園者の負担を軽減し、動物園の利便性向上と来園者サービスの充実を図る。
背景	・動物園の園路は高低差（坂道）が多く、来園者から不評であり、誰もが安全で快適に利用できる園内環境の整備が必要となっている。 ・令和7年度中に浜松いわた信用金庫から来園者の利便性向上を目的に、園内カート2台が寄贈される予定である。
事業内容	1 園内カート運行业務委託 5,915 千円 運転手2人／日（7.5時間／日）を362日（年末の休園日以外）配置し、安全で円滑な運行を実施する。 運行ルート：エントランス⇄動物愛護教育センター⇄こんちゅう館 2 園路整備工事実施設計業務 7,084 千円 来園者のより一層の安全を確保するため、既存園路とは別に園内カート用の園路を整備する設計業務を実施する。

<運行ルート>

